



# とくしま元気印 イノベーション 人材育成プログラム ニュースレター

Vol.2  
2017.5

## CONTENTS

- COC+平成 28 年度の取組、総括／特筆すべき成果
- 【徳島大学】実践力養成型インターンシップの報告
- 【四国大学・四国大学短期大学部】創業支援事業の報告
- 【協働事業】保護者+学生向け企業ガイダンスの報告
- 【協働事業】FD 地域人材育成フェスタの報告
- 平成 29 年度の計画／今後の予定



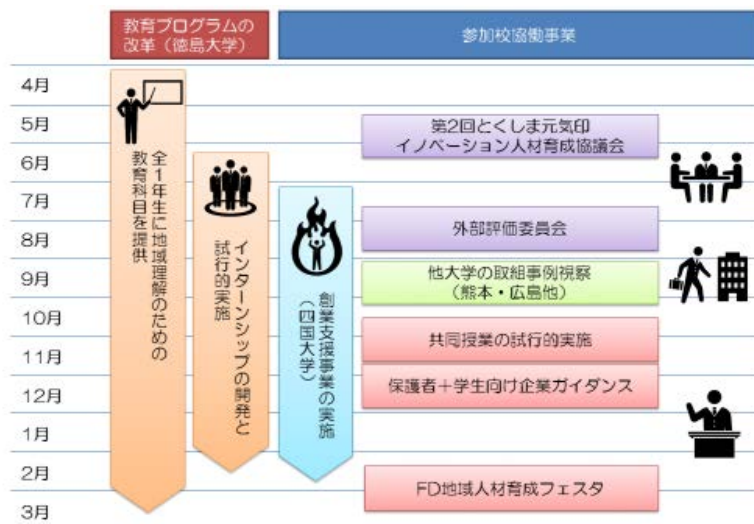
【徳島大学】インターンシップフェアの様子

## 平成 28 年度の取組と総括 徳島大学 COC プラス事業推進監 玉真之介

### 【平成 28 年度の取組と総括】

5 年間の COC+ 事業の 2 年目となる平成 28 年度は、各種取り組みの試行を行いました。徳島大学では教育プログラムの開発として、①入学者全員への地域理解のための教育科目の提供、②徳島の未来を創造する 4 分野に沿った専門教育プログラムの編成、③地域の企業や団体と連携して開発するインターンシップの試行を実施しました。

参加校の協働事業では、共同授業の試行となる特別セミナー、保護者+学生向け企業ガイダンス、FD 地域人材育成フェスタを実施し、平成 29 年度からの本格実施に向けて中核となる高等教育機関の連携体制とともに、地元企業等と大学の新しい連携の土台を構築しました。



### 【特筆すべき成果】

共同授業に向けた特別セミナー、保護者+学生向け企業ガイダンス、FD 地域人材育成フェスタと、協働事業の柱となる 3 つのプログラムの試行を終え、事業の本格実施に向けた課題について参加校の間で共有しました。

平成 29 年度はこれらの成果を踏まえて、連携を一層強化してプログラムを実施して参ります。また、徳島大学では平成 28 年度中に教育プログラムの編成を終え、平成 29 年度からは寺子屋式指導法を取り入れた「実践力養成型インターンシップ」を正課科目（教養教育の授業科目）として開講しました。

## 事業推進コーディネーターの紹介

### 宮本紀子推進サブ・コーディネーター（徳島大学）

平成 29 年 1 月に着任しました。大学・企業・学生との関係を構築するコーディネート業務を行い、徳島大学における寺子屋式インターンシップの導入と定着に向けた取組を行っています。



### 吉田寛夫創業支援クリエイター（四国大学）

平成 29 年 5 月に着任しました。中小企業の経営コンサルティングと大学連携型起業化支援施設のインキュベーションマネージャーの経験を活かし、大学から地域経済を変えていく様々な仕掛けづくりに取組みます。



## 【徳島大学】実践力養成型インターンシップの取組

徳島大学では、教育カリキュラム改革の1つとして、寺子屋式インターンシップの開発を進めています。

### 【寺子屋式インターンシップとは】

受入団体側にはメンターを、大学側にはドン（学内メンター）を配置し、相互が密に連絡を取り合い、事前学習から事後の振り返りまで「課題・レポート・ディスカッション」を繰り返す「寺子屋式指導法」を取り入れた少人数制の課題解決型インターンシップです。

### 【実施内容】

寺子屋式インターンシップの試行として「実践力養成型インターンシップ」を実施しました。期間は約半年間（うちインターンシップでの活動時間 30 日間程度）であり、県内 7 つの受入団体で 35 名の学生がプロジェクトに取り組みました。

- ①学生向け事前学習(7月)、受入団体向け事前講習(7月)
- ②中間報告会(10月)：目標達成に向けた課題整理、意識共有を図る。
- ③最終報告会(1月)：インターンシップの取り組み内容、成果、学びを報告する。
- ④学生向け振り返り会(2月)、受入団体・次年度受入候補団体向け振り返り会(3月)

### 【成果】

受入団体での活動の他に、団体・学生双方に対する事前学習や事後の振り返りプログラムなどを実施し、全体を通じてインターンシップの学習効果を高める工夫を検討しました。さらに、試行を通して教員のインターンシップ教育への関わり方を学内で協議し、教員がドン（学内メンター）として関わるインターンシップの体制を整えました。このような成果をもとに、平成 29 年度から教養教育の正課科目として、「実践力養成型インターンシップⅠ」「実践力養成型インターンシップⅡ」を開講しました。



最終報告会の様子



学生向け振り返り会の様子



受入団体向け振り返り会の様子

## 【四国大学】創業支援事業の報告

四国大学では、地域の高等教育機関と地元企業が連携して、「仕事を創り出すチャレンジ精神」を育てる 3 つのプログラムを創業支援として実施しています。

### 【ビジネスサークル「とくしまサイコー塾」】

毎月第 2 木曜日の夜に定例会を開催し、地元の 2 名の起業家にお越しいただき、「働くとは?」「なんのために働くのか?」「学生時代に学んでおくべきことは?」などを学生たちへのメッセージとしていただき、その後、学生同士のグループワークを通じて、多様な考え方の気づきを共有しました。平成 28 年度は、延べ 249 名が参加しました。

### 【とくしま学生ビジネスプラン道場】

夢（やりたいこと）をカタチにして、想いを伝えるプレゼンテーションを学ぶ場として、平成 28 年度は 82 チーム（169 名）の応募から最終 8 チームが最終プレゼンに挑みました。

### 【社長のかばんもち】

将来起業家を目指すなら起業家の一番そばで社長の仕事ぶりを感じるのが良いとの考えから、社長の秘書として社長のサポートをするプログラムです。また、社長のかばんもち終了後より 1~2 ヶ月後には報告会を開催し、社長（会社）へ学生が提案を行います。平成 28 年度は、延べ 7 社 10 名が参加しました。

今後は、更に挑戦したいという学生に向けてのチャレンジショップ事業や、地元の企業の課題をヒアリングして課題を解決するプログラムなどを行っていくことで、やる気のある学生と地元企業を繋ぎ、チャレンジ精神の育成を支援していきます。



とくしまサイコー塾の様子



とくしま  
ビジネスプラン道場の様子



社長のかばんもちの様子



## 【協働事業】保護者＋学生向け企業ガイダンスの実施報告

平成 28 年 12 月 18 日に保護者＋学生向け企業ガイダンス「徳島の魅力、徳島で働く～企業ガイダンス編」を開催しました。本ガイダンスは、県内大学、高専の学生・保護者を対象に、県内企業の魅力や将来ビジョン、また、徳島県で働く・暮らすことについて周知を図り、県内就職の増加につなげることを目的としています。特に、保護者に向けて企業名や規模ではなく、業務内容やワークスタイル等の様々な観点から就職先を選ぶ視点を含めて、徳島の企業の魅力を伝達しました。来訪者数は 120 人（学生 45 人、保護者 26 人、関係者 31 人、出展者 18 人）、アンケートにおける参加者満足度も高いものとなりました。

### 【実施内容】

[第一部] パネルディスカッション (30 分)

『インターンシップ生が語る企業の見方調べ方』

[第二部] 基調講演 (30 分)

『データから見る徳島の企業の強み』

[第三部] 企業講演 (60 分)

『実は〇〇！徳島の企業の意外な魅力』

- ① 「最先端の仕事と田舎暮らしは両立できる」 ((株) プラットイーズ)
- ② 「次世代技術関連企業では多様な人材が活躍している」 ((株) 大塚テクノ)
- ③ 「農業は総合力が求められるベンチャー企業！」 ((有) 檜山農園)
- ④ 「地域包括ケアシステムにおける多様な薬剤師の役割」  
((株) グローバル・アシスト)

[第四部] 個別企業相談会 (60 分)

### 【会場の様子】



## 【協働事業】FD 地域人材育成フェスタの実施報告

平成 29 年 2 月 18 日に、COC+事業の成果と教訓を共有する「FD 地域人材フェスタ」を開催しました (90 名が参加)。参加校や他校の教職員、連携機関やインターンシップ受入先・候補先企業の経営幹部層に会場いただき、COC+事業で参加校が実施している実践力養成型インターンシップ、創業支援、フィールド教育など、大学が地域の企業や住民と連携して取り組む人材育成の実践について報告し、地域連携における課題、工夫やノウハウを、教職員及び連携団体担当者等、ステークホルダーの間で共有しました。さらに、地域教育を受け入れていただくための意義とノウハウを広く共有するため、連携教育を地域が受け入れるメリットの視点を交えつつ、受入団体から取り組みのご報告をいただきました。

### 【実施内容】

[第一部] インターンシップ教育の成果と定着に向けた課題

COC+事業の趣旨説明及び、事業の一環として徳島大学が実施している「実践力養成型インターンシップ」、四国大学が実施している「創業支援事業」について、取り組み、課題、プログラムを受講した学生の体験談を紹介しました。

- ① COC+事業の趣旨と取り組みの概説 (10 分)
- ② 「創業支援事業の取り組み」(四国大学) (30 分)
- ③ 「実践力養成型インターンシップ」(徳島大学) (60 分)

[第二部] 教育における地域との連携

COC+事業参加校が、地域企業・団体との連携によって実現している教育について、教員及び連携先の担当者が登壇し、成果とノウハウを紹介しました。

- ① 「ボランティア・パスポートの取組」(徳島大学、徳島文理大学)
- ② 「地域企業と連携したプロジェクトマネジメント教育」(徳島大学)
- ③ 「県内企業・農家との連携による新規事業モデルの検討を通じたイノベーション教育の実践」(徳島大学)
- ④ 「食物栄養専攻における地域連携の取り組み」(四国大学短期大学部)

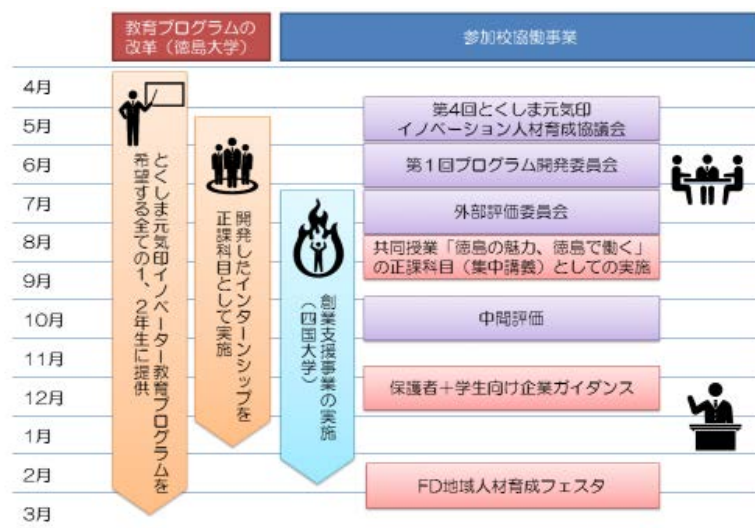
[第三部] 情報交換会

参加教員及び参加企業・団体との間で情報交換を行いました。

### 【会場の様子】



## 平成 29 年度の計画



平成 29 年度は、平成 28 年度で試行的に実施した各種取り組みを本格的に実施していきます。

徳島大学においては、全ての学部で「とくしま元気イノベーター教育プログラム」の編成を終え、希望する全ての 1, 2 年生が専門科目も含めて履修可能となります。さらに、開発したインターンシップの手法をもとに、正課科目「実践力養成型インターンシップ」として開講します。

参加校協働事業では、共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」を 3 つの大学の正課科目(集中講義)として開講します。また、保護者学生+学生向け企業ガイダンスでは、参加校全体の参加者が得られるよう、連携を強化するなど、前年度の成果と課題を踏まえてより充実したプログラムを実施します。

## 今後予定の事業

### 【協働】共同授業(集中講義)「徳島の魅力、徳島で働く」(平成 29 年 8 月 21 日～24 日)

徳島県の産業面から見た将来ビジョンと地元で働くやりがいや暮らしの楽しさ、メリットなどについて、地域の識者から学び、考え、話し合うことで、将来、就職先としての徳島県の魅力について理解を深めます。徳島県内の第一線で活躍するリーダーや県内高等教育機関の OB・OG を講師に迎え、サテライト配信講義として実施します。

### 【協働】保護者+学生向け企業ガイダンス(平成 29 年 12 月実施予定)

県内大学、高専の学生、保護者を対象に、県内企業の魅力や将来ビジョン、徳島県で働く・暮らすことについて周知を図ります。また、企業名や規模ではなく、業務内容やワークスタイル等のさまざまな観点から就職先を選ぶという観点を含めて、徳島の企業の魅力を伝達します。

### 【四国大学】ビジネスサークル「とくしまサイコー塾」定例会

毎回県内の経済団体から 2 名の起業家を講師として紹介し、講演と参加学生によるグループワークを行います。

第 12 回定例会：平成 29 年 7 月 13 日(於四国大学)

第 13 回定例会：平成 29 年 10 月 12 日(於徳島大学)

第 14 回定例会：平成 29 年 11 月 9 日(於徳島文理大学)

### 【四国大学】「社長のかばんもち」(随時)

これまで年 2 回の開催でしたが、県内企業からのご要望にお応えし、今年度より随時マッチングを行います。

### 【四国大学】「とくしま学生ビジネスプラン道場」キックオフセミナー(平成 29 年 7 月 1 日)

東工大発ベンチャーの起業家による講演の後、「事業計画のつくりかたセミナー」を行います。

### 【徳島大学】実践力養成型(寺子屋式)インターンシップ(通年)

正課科目として目下施行中です。

## 事務局だより

今年度からは、いよいよ寺子屋式インターンシップが始動します。プログラムに臨む学生 50 名のサポート体制を組み、ドン(学内メンター)をはじめとした学内の先生方、受入団体様の協力を得ながら取組を実施していきます。

このニュースレターを読まれて興味を持たれた方は、ぜひお気軽に常三島キャンパスの地域創生・国際交流会館 3 階の事務所にお越しください。お待ちしております。



徳島大学 COC プラス推進本部事務局(研究・社会連携部地域創生課内)

徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地(地域創生・国際交流会館 3F)

電話:088-656-9885 FAX:088-656-9880

e-mail:coc-plus@ml.tokushima-u.ac.jp

